

# 本と絵画の800年

## 吉野石膏所蔵の貴重書と絵画コレクション

2.26 ⑩ ▶ 4.16 ⑩

10:00~18:00(入館は17:30まで)

※月曜休館。

吉野石膏が長年収集してきた希少性の高い貴重書と絵画のコレクションの中から、本と絵画の結びつきに注目して選んだ約200点の作品を紹介します。同時代の書物と絵画を展示することで、絵画の巨匠たちと書物が関わり合いながら歩んできた歴史をひもときます。

### 吉野石膏コレクションの歩み

建材メーカーとして知られる吉野石膏は、1970年代から日本近代絵画、さらに80年代後半からフランス近代絵画の収集をスタートし、2008年には、吉野石膏美術振興財団を設立しました。財団のアートライブラリーの中でも印象派の画家カミーユ・ピサロの息子、リュシアン・ピサロが設立したエラニー・プレスのコレクションは、国内随一を誇ります。

▶ **観覧料:** 一般1,000円、高校・大学生と65~74歳の方800円、中学生以下と75歳以上の方無料 ※一般以外の方は、年齢を確認できるものがが必要です。 ※その他割引制度あり。

**場所・問合せ** 練馬区立美術館 ☎3577-1821



カミーユ・ピサロ「ロンドンのキューガーデン、大温室前の散歩道」  
1892年 油彩・キャンバス



シャルル・ペロー  
「眠れる森の美女・赤ずきん:ふたつの寓話」  
エラニー・プレス 1899年 **貴重書**



ピエール=オーギュスト・ルノワール  
「庭で犬を膝にのせて読書する少女」  
1874年 油彩・キャンバス



上村松園「深雪の図」  
制作年不詳 絹本着色

時祷書零葉(聖セバスティアヌス受難の場面)  
1435年ごろ **貴重書**

### 会期中の催し

| 催し名など  | 対象            | 日時   | 定員(抽選) | 申込期限(必着) |
|--|---------------|--|--------|----------|
| <b>1</b> 講演会「挿絵と絵画~15・16世紀北イタリアの写本と初期刊本との関係から」▶ <b>場所:</b> サンライフ練馬 ▶ <b>講師:</b> 東京大学名誉教授/小佐野重利 | 中学生以上         | 3/4(土)15:00~16:30  | 70名    | 2/17     |
| <b>2</b> 鑑賞プログラム「あかちゃんと家族の鑑賞会」   | 2歳以下のお子さんと保護者 | 3/5(日)①10:30~11:30②13:30~14:30                                     | 各10名   |          |
| <b>3</b> ギャラリートーク<br>▶ <b>講師:</b> 吉野石膏美術振興財団職員   | -             | 3/11(土)・25(土)15:00~15:30   | -      | -        |
| <b>4</b> 鑑賞プログラム「トコトコ美術館vol.44 テーマ:本」  | 3歳以上の未就学児と保護者 | 3/18(土)①10:30~12:00②14:00~15:30<br>3/19(日)③10:30~12:00④14:00~15:30 | 各5組    | 3/3      |
| <b>5</b> スライドトーク「本と本画をめぐる東西画家往来~省亭・椋嶺・劉生を中心に」▶ <b>講師:</b> 泉屋博古館東京館長/野地耕一郎                      | 中学生以上         | 4/9(日)15:00~16:00  | 40名    | 3/24     |

▶ **申込:** ①②④⑤ 往復ハガキまたは同ホームページで①催し名(①②④⑤)の別。②は(A)⑥、④は(A)~(D)の別も)②参加者全員(①⑤)は2名まで。④は3名(お子さん2名、保護者1名)までの住所・氏名(ふりがな)・年齢(学生は学年も)・電話番号を、申込期限までに〒176-0021 貫井1-36-16 練馬区立美術館へ③当日会場へ ※①⑤は観覧券の半券、②~④は当日の観覧券が必要です。



お休みします【展示作業のため】 2月13日(月)~25日(土)